

Column

自信がないのは
当たり前

鈴木 杏奈
流体科学研究所 助教



Facebook最高執行責任者Sheryl Sandberg氏が著書「Lean In」の中で、女性は自分を過小評価する「インポスター症候群」である傾向があると述べています。女性の社会進出が日本より圧倒的に進んでいるアメリカでも、未だに女性リーダーは自信を持ちにくいことは衝撃でした。

私は、研究者には向いていないと言われながらも、自分じゃない人がやればもっと良い研究ができるのにと思いながらも、自分のロールモデル(東北大機械系の女の先生、サイエンスエンジェルで出会った女の先輩たち)のようになれたらと博士課程に進むことを決めました。博士修了後に過ごしたアメリカ西海岸では、自分のお粗末な英語力と研究能力のせいで劣等感に苛まれてばかりでしたが、西海岸のチャレンジする人を応援する文化、女性が普通に活躍する社会が自分を後押ししてくれてチャレンジし続けることができました。決して能力があったわけでも、自信があったわけでもなく、私には能力も自信もなくても、夢を抱き、頑張らせてくれる仲間・環境が整っていたのです。私はここまで研究を続けたからこそ、ようやく自分の研究が楽しいと思ひ始め、続けたからこそ、結果ができてきて、それが今の自信に繋がっています。

何をやるにも、初めは自信がないのは当たり前です。私はやり続ける中で、自分の敵は自分であることに気づき、自分に勝つことによって自信ができました。気づけばこんなに楽しく充実した日々が待っていました。もしみなさんも、夢ややりたいことがあるのなら、怖がらずにその夢にチャレンジしてほしいと願っています。

Report

開催報告

第5回TUMUG Café

5月31日(水) 12:00~13:30
片平北門会館セリシール(片平キャンパス)

ベビーシッター利用料等補助制度を活用している伊賀 由佳准教授(流体科学研究所)をお迎えし、利用の様子やその効果についてお話しいただき、23人が参加しました。



Caféの様子

ベビーシッター、
どう使っている?

Activities

センター関係者による活動状況

(2017年2月~2017年6月)

- 大隅典子(副センター長)
4月15日 奈良女子大学 理系女性教育開発共同機構 CORE of STEM シンポジウム「理数教育における魅力の創造Part2」にて「理系に進む女性は少ないのか?」講演
- 6月8日-9日 STEM Gender Equality Congress, Berlinにて発表
- 大隅典子、田中真美、倉田祥一郎、藤村維子、瀬戸文美
5月25日-27日 Gender Summit 10にてポスター発表及びブース展示
- 藤村維子(特任講師)
3月1日 大阪大学「女子中高生に科学の楽しさを伝えよう ~東北大学サイエンス・エンジェルの取組~」にて講演
- 3月13日 総合技術部男女共同参画部会研修にて講演

Event & Recruitment

第4回(平成29年度)
澤柳政太郎記念
東北大学男女共同参画賞 募集

アカデミアにおける男女共同参画の先駆として各分野で活躍し多大な貢献をされた方々を選考し顕彰いたします。今年度も募集要項に基づき募集しておりますので、推薦をお願いいたします。

【募集締切】 平成29年7月31日(月)
【受賞課題発表】 平成29年9月22日(金)
【お問い合わせ先】 総務企画部総務課総務係(TEL 022-217-4811)
◎募集要項は、東北大学男女共同参画委員会・本センターWEBページをご覧ください。



平成29年度
「いきいきキャリアスタート」事業
10年後の自分 開催

学生の皆様、是非ご参加下さい!

これからキャリアをスタートする学生を対象に、地域の企業等で活躍する女性を身近な目標となる「先輩」として迎え、研修(ワークショップ)を実施します。自らのキャリアやライフプラン、家庭や職場における男女共同参画について一緒に考えてみませんか。

【日程】 9月14日(木)13:30~16:30
【会場】 生命科学研究所プロジェクト総合研究棟会議室A・B(片平キャンパス)
【対象】 東北大学の学生(男女不問)60名程度
【主催】 宮城県・東北大学
◎詳細は、本センターWEBページをご覧ください。

Information

WEBリニューアルのおしらせ

男女共同参画推進センター
(TUMUG)

英語サイトも同時オープンしました。Twitterも始めましたので、合わせてご覧ください。

日本語版 <http://tumug.tohoku.ac.jp/>
英語版 <http://tumug.tohoku.ac.jp/en/>
Twitter https://twitter.com/TUMUG_TOHOKU

川内けやき保育園

川内けやき保育園の利用に係る各種申込情報のほか園内の様子も掲載しています。平成30年開設予定の青葉山新キャンパス第3保育園の情報についても順次掲載していきます。また、専用メールも設置しました。是非ご覧ください。

NEW <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/keyaki/>
専用メール hoiku@grp.tohoku.ac.jp

「ジェンダーと人間社会」開講3年目



全学教育科目(基幹科目)として「ジェンダーと人間社会」(前・後期とも月曜1講時)を開講しています。本科目は、東北大学グローバルリーダー育成プログラム指定科目となっており、前期は230名の学生が履修登録しています。

担当教員: 大隅典子 副センター長(医学系研究科 教授)
三隅多恵子(法学研究科附属法政実務教育研究センター 講師)



「TUMUG」とは「Tohoku University(東北大学)」「Movement(運動、活動)」「United(団結、協力)」「Gender(ジェンダー、男女)」からなる頭字語(アクリニム)。東北大学が「訪く」男女共同参画の取組が、ムーブメントとして広がっていくことを目指しています。



ノルウェー科学技術大学(NTNU)ジェンダー研究メンバーがセンター来訪

- 01 ▶ 沢柳フェローランチミーティング ~里見総長から女性研究者へのメッセージ~
- ▶ ノルウェー科学技術大学(NTNU)ジェンダー研究メンバーがセンター来訪
- 02 ▶ 平成29年度「女性教員採用促進事業」募集のお知らせ
- ▶ TUMUGに新副センター長と助手が着任
- 03 ▶ 平成29年度東北大学サイエンス・エンジェル(SA)の活動
- ▶ 学内での動き
- 04 ▶ コラム:鈴木 杏奈助教

沢柳フェローランチミーティング ~里見総長から女性研究者へのメッセージ~



日時:6月19日(月) 12:00~13:30
会場:エクステンション教育研究棟1階ホール(片平キャンパス)



平成28年度、東北大学の「杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業」が文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)に採択されました。そこで今回は特別企画として、本事業の総括責任者である里見進総長を沢柳フェローランチミーティングにお招きし、女性研究者に向けたメッセージを発信していただきました。その後、植木俊哉理事・男女共同参画推進センター長よりご挨拶をいただき、田中真美副センター長(医工学研究科/工学研究科 教授)より本学で実施している男女共同参画に向けた11項目の支援プログラムと、平成29年度から新たにスタートする女性研究者採用促進の取組について紹介がありました。また、沢柳フェロー7名よりご挨拶をいただきました。和やかな雰囲気の中、総長と女性研究者との意見交換も行われ、53名の方々にご参加いただきました。

ノルウェー科学技術大学(NTNU)ジェンダー研究メンバーがセンター来訪

4月27日(木)に、ノルウェー科学技術大学(Norwegian University of Science and Technology - NTNU)ジェンダー研究メンバーであるNina Elisabeth Sindre氏(Coordinator of International Affairs / Rector's Staff)、Prof. Priscilla Ringrose氏(NTNU文学部学際的文化研究科教授)、Guro Korsnes Kristensen氏(NTNU文学部学際的文化研究科准教授)が本センターを訪問しました。

本センターの大隅典子副センター長(医学系研究科教授)らが出席し、男女共同参画に関するそれぞれの現状、システムや今後の課題などに関する意見交換を行いました。東北大学サイエンス・エンジェルの運営から互いの大学における女性の労働環境や保育環境の現状、大学の運営体制等々に至り、多岐に渡る内容の意見交換が行われ、今後の課題についても討議されました。

東北大学男女共同参画推進センター

Tohoku University Center for Gender Equality Promotion

TEL 022-217-6092

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
E-mail office@tumug.tohoku.ac.jp
WEB <http://tumug.tohoku.ac.jp/>



NEW Program

平成29年度「女性教員採用促進事業」学内部局募集のお知らせ

東北大学では女性教員採用促進事業として、「(1-1)部局公募型」、「(1-2)国際公募型」、「(2)ポストアップによる女性上位職移行策」、及び「(3)各部局の特性を生かした努力による促進策」の4種類の公募を開始しました。要領をご確認の上、奮ってご応募ください。

お問い合わせ先
 ●事業内容に関するお問い合わせ
 男女共同参画推進センター
 (TEL)022-217-6011
 (E-mail)office@tumug.tohoku.ac.jp
 ※お問い合わせはメールにてお願いします。

●事務手続きに関するお問い合わせ
 総務企画部総務課
 (TEL)022-217-4811
 (E-mail)danyjo@grp.tohoku.ac.jp

※詳細はセンターWEBページをご覧ください。

(1-1) 部局公募型

受入部局の募集

内容 女性教員(准教授、講師、又は助教)の新規採用を希望する学内部局を募集(採択された部局は、女性教員の公募を実施)。当該女性教員の人件費を、最大3年間まで支援。

対象者 全部局
件数 3件程度
本部締切 平成29年7月28日(金)

(1-2) 国際公募型

1.受入部局の募集

内容 幅広い分野が合同で行う国際公募により女性教員(准教授、講師、又は助教)の新規採用を希望する学内部局を募集(応募した全ての部局は合同で女性教員の国際公募を実施)。採用された女性教員(3名程度)のメンター教員の所属する受入部局に対して、当該女性教員の人件費を最大3年間まで支援。

対象者 全部局
件数 制限なし
本部締切 平成29年7月28日(金)

2.女性教員の公募

内容 公募する教員ポストと受入部局は、平成29年8月下旬に男女共同参画推進センターWEBページ上で公開する予定(ただし申請にあたり、公募する教員ポストの受入部局に所属する、メンター教員を選んでいただく必要があります。)

対象者 博士の学位を有する女性研究者
件数 3名程度(准教授、講師、又は助教)
本部締切 平成29年10月下旬予定

(2) ポストアップによる女性上位職移行策

内容 上位職の実力が認められる女性教員の在籍する学内部局を募集。上位職と現職の人件費の差額分を最大5年間まで支援。

対象者 全部局
件数 8件程度(上位職として、准教授6名、教授2名程度)
本部締切 平成29年9月15日(金)

(3) 各部局の特性を生かした努力による促進策

内容 教員(助教以上)、上位職、及び役員・役職者における女性比率の上昇を実現し、ダイバーシティ研究環境の実現に向けた促進努力を行う独自の取組を提案する学内部局を支援。

対象者 全部局
件数 5~7件程度
本部締切 平成29年7月28日(金)

◎第2回管理職セミナー

日時:6月6日(火)16:00~17:15 会場:片平さくらホール(片平キャンパス)

本セミナーでは、各部局の指導的立場にある部局長、事務(部)長等を対象に本学の「杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業」総括責任者である里見進総長からのメッセージに続き、平成29年度新たにスタートする女性研究者採用促進の取組と、学内部局に対する4種類の公募の詳細についてのセミナーを開催しました。その後、質疑応答も行われ、74名の方々にご参加いただきました。



植木理事・センター長



セミナーの様子

Information

TUMUGに新副センター長と助手が着任

男女共同参画推進センター
 副センター長 永次史(多元物質科学研究所 教授)

今年度より、米永先生の後任として東北大学男女共同参画推進センター副センター長を仰せつかりました、多元物質科学研究所の永次史と申します。東北大学は建学以来、門戸開放を大学の理念の一つに掲げており、約100年前に、日本ではじめて女子学生を受け入れた国立大学です。本センターでは、女子学生入学100周年の際に制定された行動指針に基づき男女共同参画社会の実現に向けて活動しております。大変微力ではありますが、男女共同参画推進センターの副センター長として、男女共同参画のみならずダイバーシティを実現できる組織を目指し活動できればと思っております。至らないところも多いと思っておりますがどうぞよろしくお願い申し上げます。



男女共同参画推進センター
 助手 瀬戸 文美

本年度より助手として着任いたしました瀬戸文美と申します。本学卒業生・東北大学サイエンス・エンジェル(SA)第一期生として、本学の男女共同参画・女性研究者育成支援活動に携われることを嬉しく思っております。男女を問わず研究者・学生の皆さんが研究・勉学に励むことのできる環境づくりに尽力いたします。



平成29年度 東北大学サイエンス・エンジェル(SA)の活動

東北大学では「男女共同参画推進のための行動指針」にある「次世代育成」に基づき、自然科学系女子大学院生を対象とした東北大学サイエンス・エンジェル(SA)制度を設けています。SAは次世代のロールモデルとして、小中高生や保護者・教師、特に理系進学に興味を持つ女子中高生に対して、体験型イベントやオープンキャンパス、出張セミナー等を通じて科学の魅力と研究のおもしろさを伝える活動をしています。平成29年度は69名のSAが任命されました。



開催報告

第1回スキルアップセミナー「科学発表のビジュアルデザイン」

日時:6月13日(火)15:30~16:45
 会場:知の館3階講義室(片平キャンパス)



田中佐代子氏

日本サイエンス・ビジュアルイノベーション研究会代表の田中佐代子先生をお迎えし、科学研究の成果を分かりやすく伝えるにはどのように資料を準備したら良いか、科学的な内容を視覚的にプレゼンする技法について学びました。71名の学生・研究者が参加しました。

セミナーの様子

研究職に興味がある
 中学生・高校生、学部学生の皆さんの参加をお待ちしています

イベント情報

研究者ってなに?「オープンキャンパス」編



日時:7月25日(火)・26日(水) 12:00~13:30
 会場:東北大学理学研究科合同A棟 2階 第2・3共通講義室(204号室・205号室)
 対象:中学生・高校生、学部学生
 ※大学院生や高校の先生方、保護者の方の参加を歓迎いたします。また、男女も問いません。
 備考:入場無料・途中入退場自由。飲食可能です。各自ご自由にご持参下さい。

●今後の活動予定

7月1日(土)	MISTI/MIT-Japan & Tohoku University Science Angels Collaborative STEM Education Program 開催 金属材料研究所1号館講義室(片平キャンパス)	8月4日(金) -5日(土)	2017夏休みサイエンススクエアへの出張 国立科学博物館(東京)
7月15日(土)	GWST(グローバル女性科学技術会議)ブース出張 横浜シンポジウム(横浜)	8月22日(火)	楽しい理科のはなし2017への出張 東京エレクトロンホール宮城
7月16日(日)	サイエンス・テイ2017への出張 東北大学カールサイエンスキャンパスホール	10月7日(土) -8日(日)	片平まつりへの出張 片平キャンパス

女子大学院生を対象とした賞

医学系研究科 七星賞 ~NANASE Award~

七星賞は、優秀な女子大学院生が自信を持ち、諦めることなく研究者キャリアの道を歩むことを奨励し、医学・医療等の分野で活躍する女性リーダー育成の一翼を担うことを目的として設立されました。今年度第2回受賞者3名が決定し、5月20日(土)に授賞式・受賞記念講演が長岡同窓会総会で行われました。



七星賞受賞者(写真左から) ※()内は受賞時の所属
 最優秀賞 渋谷 里紗(呼吸器内科学分野・生物科学分野)
 優秀賞 菊田 里美(医用画像工学分野)
 優秀賞 柿崎 彰(皮膚科学分野)

理学研究科 黒田チカ賞

青葉理学会ではわが国最初の博士号を取得した黒田チカ博士を記念し、毎年、優れた研究業績をあげた理学研究科および生命科学研究科博士課程の女子学生数名を選び顕彰しています。今年度は4名が受賞しました。また、青葉理学会賞に、東北大学サイエンス・エンジェルである小澤 友美氏が受賞しました。

黒田チカ賞受賞者 ※()内は受賞時の所属
 蛭子 くるみ(数学専攻 博士課程後期3年)
 川本 絵里奈(物理学専攻 博士課程後期3年)
 中村 友梨江(地学専攻 博士課程後期3年)
 MROZOWSKA, Paulina Sandra(生命科学研究科 生命機能科学専攻 博士課程後期3年)
 青葉理学会賞受賞者
 小澤 友美氏(数学専攻 博士課程後期3年)



[学内での動き]

ダイバーシティ研究環境実現のための部局等による取組支援プログラムとして、各部局のファカルティ・ディベロップメント(FD)実施を支援しています。2月には、平成28年度に採択された3部局のFDが開催されました。採択部局からは、「今後の男女共同参画の活動において参考となる有意義なイベントだった」「ダイバーシティ研究環境実現のための取組の一つとして大きな効果が得られた」「将来、女性研究者として活躍していくための指針になった」等の声が寄せられました。

男女共同参画推進に関するセミナーの開催

金属材料研究所

女性研究者に支援の気持ちを込めて

日時:2月1日(水) 12:00~14:30
 会場:金属材料研究所(2号館講義室)
 講師:中野 裕美氏(豊橋科学技術大学)



電気通信研究所

ナノ・バイオおよびナノ・有機融合分野で活躍する女性達

日時:2月3日(金)14:00~17:10
 会場:電気通信研究所(ナノ・スピニング実験施設)
 講師:高井 まどか氏(東京大学) 大嶋 梓氏(NTT物性科学基礎研究所) 松永 行子氏(東京大学) 細川 千絵氏(産業技術総合研究所)



多元物質科学研究所

女性科学者が語る研究・人生の楽しみ方

日時:2月20日(月)14:00~17:00
 会場:多元物質科学研究所(南総合研究棟II大会議室)
 講師:永澤 秀子氏(岐阜薬科大学薬学部) 程 久美子氏(東京大学大学院理学系研究科)



開催報告

研究職の魅力伝える

日時:2月24日(金)13:30~16:00
 会場:生命科学研究科プロジェクト総合研究棟会議室A



女子学生を対象に、女性研究者から研究内容や職業生活についてお話し頂き、研究職の実際について話し合うグループトークを行い、約40名が参加しました。

講師:安西 眸氏(東北大学学際科学フロンティア研究所 助教) 大野 直子氏(北海道大学大学院工学研究院材料科学部門 助教) 戸谷 梓氏(中外製薬株式会社製薬研究部(合成技術担当) 研究員)

開催報告

研究者ってなに?~留学・海外滞在編~

日時:3月25日(土)13:30~15:30
 会場:TKPガーデンシティ仙台 アエル 13F会議室



本学学部生・大学院生・若手研究者、中学生・高校生とその保護者を対象に、女性研究者の長期海外留学経験者や海外で活躍する研究者にお話し頂き、約40名が参加しました。

講師:木村 基祝氏(三菱重工業株式会社) 松八重 一代氏(東北大学環境科学研究所 教授) 鈴木 杏奈氏(東北大学流体科学研究所 助教)